

科目名	行動科学A
科目名(英訳)	Behavioral Science A
科目ナンバー	HI239A01
担当者 (非)は非常勤講師	胡 琴菊(非)
単位数	2
開講学年	2年
開講セメスター	春期毎週
履修順序・履修情報	類似科目情報あり
担当者及び時間割	【春学期】 胡 琴菊(非): 火3-4
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	コミュニケーション学科専門教育科目の中の関連科目として位置づけられる。関連科目は、教員免許などの資格取得に必要な科目群である。本講義は、教員免許取得に必要な「教科に関する科目」のうちの科目区分「哲学、倫理学、宗教学、心理学」(「公民」[高校])、および科目区分「哲学、倫理学、宗教学」(「社会」[中学])に属する科目の1つである。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:◎ ③:○ ④:○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	課題設定力 クリティカル思考力 / 豊かな教養 専門的知識・技能 学び続ける能力

授業の主旨 (概要)	本科目は社会で必要とされる知識・技能の修得を目的とする。 人はなぜ、そのような行動をするのか。行動科学(behavioral science)は、人間のさまざまな行動に対して観察や実験などによって、科学的に研究し、その法則性を解明しようとする学問。その中には、心理学や社会学、精神医学、経済学、情報工学などが含まれている。特に、心理学は行動を扱う分野として行動科学の中心に位置している。 本講義では、個人行動、対人行動、集団行動、社会行動から身近な事例をまじえながら取り上げて解説する。人間の日常生活や教育・臨床場面における行動の理解、社会問題の解決やビジネス等にどう役立つのかを理解出来るようになることを目的とする。		
具体的 達成目標	授業の主旨に基づき、以下を達成目標として位置付ける。 ①人間の行動にかかわる諸理論、概念を理解できる。 ②様々な場面における人間の行動を予測・解釈できる。 ③諸理論を基盤とし、「人と共に、こころ豊かに生きる」ためのスキルを習得し、日常に応用できる。		
授業計画	1	【内容】	オリエンテーション
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	2	【内容】	行動科学とは
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	3	【内容】	人間の行動を科学する行動科学
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	4	【内容】	個人行動(1): 自己
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	5	【内容】	個人行動(2): 自己開示
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	6	【内容】	対人行動(1): 印象形成
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。

	7	【内容】	対人行動(2):説得
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のことと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	8	【内容】	対人行動(3):対人関係
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のことと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	9	【内容】	対人行動(4):対人コミュニケーション
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のことと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	10	【内容】	集団行動(1):集団と人間
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のことと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	11	【内容】	集団行動(2):リーダーシップ
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のことと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	12	【内容】	集団行動(3):組織と人間行動
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のことと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	13	【内容】	社会行動(1):消費者行動
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のことと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	14	【内容】	社会行動(2):社会的影響
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のことと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	15	【内容】	総まとめ
		【授業外学習】	半期の授業において、振り返りを行い、期末レポートを作成する。
授業方法	主に講義形式とするが、必要に応じてプリントを配布し、多様な資料を活用し、具体的、実践的な理解を図る。受講人数によってはディスカッションやグループワークを取り入れることがある。また、毎回授業外に講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のことと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。課題等については、基本的にはコメント等をつけて返却する予定であるが、多くの学生に共通するような一般的な注意事項等のコメントが多い場合は、個別に対応するのではなく、授業中に全員に対して一括してフィードバックする。		
成績の 評価方法	講義への積極的参加度と講義外の小レポート70%、期末試験30%等により総合的評価する。		
成績の 評価基準	成績の評価方法に基づき、100点満点で定められた成績評価基準・単位認定基準(S:90点以上、A:80点以上、B:70点以上、C:60点以上)に従って評価を行う。		
教科書			
参考文献			